

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 H28年4月1日～R2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉公園野球場 ほか25施設
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	本施設における、スポーツレクリエーションを通じて、健康増進を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	快適なスポーツレクリエーションの場を提供すること。 各種スポーツの普及、健康増進に関する契機となる事業を企画・実施すること。
制度導入により見込まれる効果	民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上や管理経費の縮減を見込んでいる。
指定管理者名	スポーツクラブNAS株式会社
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

2 成果指標等の推移

(1) 施設利用者数(成果指標1)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
実績値	502,793	497,922	508,867	460,300	1,969,882
数値目標※	550,000人/年以上	550,000人/年以上	551,800人/年以上 (550,000人)	557,300人/年以上 (550,000人)	2,209,100人 (2,200,000人)
達成率	91.4%	90.5%	92.2%(92.5%)	82.6%(83.7%)	89.2%(89.5%)

(2) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
各種教室・講座の開催	51教室 (目標55)	52教室 (目標60)	69教室 (目標65)	48教室 (目標65)	220教室 (目標245)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	269,425	264,019	266,108	270,586	1,070,138
			計画	269,425	265,923	266,108	268,930	1,070,386
		利用料金	実績	66,253	64,327	64,884	64,172	259,636
			計画	68,423	69,789	70,490	71,450	280,152
		その他	実績	0	0	0	0	0
			計画	0	0	0	0	0
	合計	実績	335,678	328,346	330,992	334,758	1,329,774	
		計画	337,848	335,712	336,598	340,380	1,350,538	
	支出	実績	306,301	295,732	313,362	308,829	1,224,224	
		計画	337,848	335,712	336,598	340,380	1,350,538	
収支	実績	29,377	32,614	17,630	25,929	105,550		
自主事業	収入	実績	5,466	7,726	6,323	4,971	24,486	
		計画	5,647	5,923	6,119	6,315	24,004	
	支出	実績	3,957	6,042	5,326	4,995	20,320	
		計画	5,303	5,386	5,534	5,751	21,974	
	収支	実績	1,509	1,684	997	△ 24	4,166	
	総収入	実績	341,144	336,072	337,315	339,729	1,354,260	
総支出	実績	310,258	301,774	318,688	313,824	1,244,544		
総収支	実績	30,886	34,298	18,627	25,905	109,716		
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0		
利益還元の内容		市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。	市が示す利益還元のほかに自主事業の利益が黒字化した場合には、自主事業利益より、施設利用に係る備品を購入し、千葉市に寄贈する。			

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	H31年度は台風やコロナ感染症の影響により達成率が下がったが、概ね90%以上を達成した。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	期間中に複数施設が廃止になり、提案額より下がったが、ほぼ事業計画書通りであった。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	
(2) 施設の維持管理業務	A	グラウンドシステムを活用した施設の一括保守管理を実施。施設スタッフによる保守点検、修繕や補修をおこない、迅速で低コストな管理をおこなった。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	A	メールマガジンの配信やポイントカード発行などの利用者支援、季節等に応じて供用時間を拡大、生活保護・母子家庭を対象とした減免の導入するなど、様々な取り組みをおこなった。
(2) 利用者サービスの充実	B	アンケートによる要望や意見を、維持管理業務に反映させるなど、利用者満足度の向上に寄与した。
(3) 施設における事業の実施	C	
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	B	市内雇用88%以上、障害者雇用13名、再委託の80%を市内業者に発注するなどの実績を評価した。

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

○	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

施設の維持管理に関しては、グラウンドシステムを活用した一括保守管理を実施、施設スタッフによる保守点検、修繕・補修をおこない、利用者からの要望意見にも迅速に対応した環境改善をおこなうなど満足度向上につながる取り組みもなされた。
メールマガジン配信やポイントカード発行による利用促進、季節等による利用時間拡大や生活保護・母子家庭への減免適用などの利用支援もおこなわれた。
大部分が屋外施設であるため、天候等による利用者数の増減はあったものの、指定管理者制度導入による効果は当初の見込みを上回ったと検証される。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

- ・指定管理期間中に複数施設の廃止があった。次期指定管理期間にも施設の廃止及び新設が予定されているが、新設される施設の所管がまだ決まっていない。
- ・3つの所管課の施設が一括管理されており、施設によって条例が異なるなどの課題もあるが、市内一括での管理による統一された市民サービスの提供ができています。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。
台風や大雨等の悪天候や、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少はあったものの、当初の見込みを上回る効果が達成できたことから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。